

福祉問題学習 講話～特別養護老人ホームの実態～

5月12日(月)

12日(月)、2年生151人の福祉問題学習が行われ、特別養護老人ホーム「温泉ハウスくまの」の事務長、山田大二さんが同ホームの概要と入所者について講話した。この中で、現在の入所者数が男性6人、女性44人の計50人であるが、ベッドが満床状態のため、100人以上が入所待ち状態であること、また、入所者の平均年齢が約90歳であることを伺い、生徒はその実態に驚かされた。生徒たちは今後、クラス毎に老人保健施設「みさき」を訪問し、体験学習を行う予定。

川原家の組み立て実習

5月13日(火)

釘を1本も使わず組み立てる木造家屋「川原家」。この組立実習が13日(火)、建設技術系列2年生を対象に行われた。川原屋は熊野速玉大社下の河原に多いときでは230軒近くあったが、昭和20年代には交通事情の変化から自然と消えていった。今回の組み立て・解体には、県立新宮高等学校建設工学科の生徒が課題研究で取り組んだものを使用。今後は、学校行事等で川原家を地域に紹介していく予定。取り組んだ生徒は、「時間はかかったがみんなで一生懸命組み立てた。



武道場こけら落とし

5月23日(金)

剣道家でもある箕島高校長の横尾英治先生をお迎えし、凜とした張り詰めた厳粛な空気の中で行われた。形模範演武のあと、部員に稽古をつけ、道場竣工に華を添えた。道場を使用する剣道(部員6人)、柔道(同12人)空手(同9人)の部員に「練習に励み、技量を高めて下さい」と激励した。



このあと、横尾先生は「うらやましいかぎりです。技術向上はもとよりですが、人間性の向上が最たる目的です。すばらしい道場で汗を流し、練習に励んで下さい」と挨拶。

武道場は鉄骨造り平屋建て、広さ445平方メートル。床の部分で剣道部と空手部が、畳部分で柔道部が練習する。旧武道場は総合学科棟の建築に伴って取り壊し、新たに新築。道場は保健体育の授業でも使用する。

交通安全講話

5月28日(水)

新宮警察署交通課長 中家清さんより交通安全に関する講話が行われた。6月1日より車の後部座席のシートベルト着用が義務化することをはじめ、自転車が歩道を通行できる場合が制限されたことなど、身近な話題を紹介。また、自転車を安全に利用するためのルールを確認し、安全で快適な生活を送るよう生徒一人ひとりに注意を促した。



高校総体始まる

5月29日(木)～

参加クラブ生徒の皆さんを全員で応援しましょう!!